※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業での解説や板書を記録し、主体的に復習に取り組むこと。
・常に時事問題に関心を持ち、学習内容との関連を意識しながら学習に取り組むこと。

２　学習の到達目標

１．社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて、経済分野を中心に理解するとともに、諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識・技能）
２．国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。（思考・判断・表現）
３．よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。（主体的に学習に取り組む態度）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。それとともに､諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ､まとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。それとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第1部　第2編　現代日本の経済	第１章 経済社会の変容 第１節 経済活動の意義	a：生産と消費、分業と交換といった経済活動の基本概念について理解している。 b：なぜ経済活動をおこなうのか、分業と交換、希少性といった考え方をもとに考察し適切に表現している c：経済活動の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第１章 経済社会の変容 第２節 経済社会の形成と変容	a：資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 b：資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 c：経済社会の形成と変容について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第２章 現代経済のしくみ 第１節 市場機構	a：経済活動と市場の関係を、具体的な市場における価格形成の事例を取り上げながら考察することを通して理解している。 b：価格をシグナルとして需要と供給がどのように変化するかについて考察を深めている。 c：市場機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第２章 現代経済のしくみ 第２節 現代の企業	a：現代の企業の区分、株式会社の特色について理解している。 b：企業が社会的責任を果たす必要性について考察し，それらを適切に表現している。 C:現代の企業について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

1学期	第1部 第2編 現代日本の経済	第２章 現代経済のしくみ 第３節 国民所得と経済成長	a: GDP などの経済指標の使われ方やそれぞれの限界について理解している b: インフレやデフレが私たちの生活に与える影響について多面的・多角的に考察を深めている。 c: 国民所得と経済成長について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第２章 現代経済のしくみ 第４節 金融のしくみ	a: 金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策について理解している。 b: 景気変動と金利の関係、我が国の金利政策の特徴について考察を深めている。 c: 金融のしくみについて主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
2学期		第２章 現代経済のしくみ 第5節 財政のしくみ	a: 国民生活における租税の意義と役割に関心をもち、公正で適切な負担と受益の関係に基づいて税制度が作られることについて理解している。 b: 日本の財政の課題や財政再建の方策について考察・構想し、それらを適切に表現している。 c: 財政のしくみについて主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第3章 現代経済と福祉の向上 第1節 経済の停滞と再生	a: 円高不況からバブル経済の発生と崩壊に至る背景や要因について理解している。また、日本経済が直面する課題にはどのようなものがあるか理解している。 b: 2000 年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察している。 c: 経済の停滞と再生について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第2章 現代の国際経済	第1節 商品資本の流れと国際収支	a: 貿易が、国際分業と交換から成り立っていることの理解を基に、現在の世界及び日本の貿易の現状と動向について、具体的事例や資料を基に理解している。 b: 貿易がすべての国に利益があるかについて、「比較生産費説」をもとに考察を深めている。 c: 商品・資本の流れと国際収支について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第2節 国際経済体制の変化	a: IMF と GATT に代表される国際経済体制について、その概要を理解している。 b: ブロック経済が世界貿易の停滞を招いたのはなぜか、多面的・多角的に考察している。 c: 国際経済体制の変化について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第3節 グローバル化と世界金融	a: 金融のグローバル化の結果、資本の国際取引が活発になった一方で、投機的資金の移動が実体経済を脅かすこともあることを理解している。 b: グローバリゼーションがもたらすメリットとデメリットについて多面的に考察している。 c: グローバル化と世界金融について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第4節 地域経済統合と新興国の台頭	a: 世界各地で経済統合と自由貿易が進展している現状を理解させる。 b: EU を例として，どのように統合が深化していったかを理解している c: 地域経済統合と新興国の台頭について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第2章 現代の国際経済	第5節 地球環境とエネルギー	a: 地球環境問題の国際的な対策のあゆみについて理解している。 b: 環境保全をめぐる国際協力にはどのような課題が残されているか、多面的・多角的に考察している。 c: よりよい社会の実現のために、地球環境とエネルギーとその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察
		第6節 経済協力と人間開発の課題	a: ODA から SDGs につらなる援助と開発の過程について理解している。また、先進国による援助の中心として ODA がおこなわれてきたことを理解している。 b: 日本の ODA の特徴と課題はどのようなものか、資金の用途や貸与方式などの観点から多面的に考察を深めている。 c: 経済協力と人間開発の課題について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りシート ノートの記述 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度